先月号に引き続き、市制20周年記念として広報みまに掲載された過去の行事を写真で振り返ります。

平成28年（2016年）4月
美馬認定こども園が開園

美馬町字中東原に市内で２園目となる「美馬認定こども園」が完成し、3月30日に関係者約70人が出席し落成式が行われました。

平成29年（2017年）4月
デ・レイケ公園チューリップまつり

4月8日、大谷川沿いにあるデ・レイケ公園でチューリップまつりが開催されました。青空のもと鮮やかな14種類1万5千本のチューリップが来場者2,000人を魅了しました。

平成30年（2018年）5月
地域交流センター「ミライズ」オープン

5月12日、美馬市地域交流センター「ミライズ」の落成式が行われました。式典では、テープカットや記念演奏、書道パフォーマンスが行われました。また、翌日には市民ホールでクラシックコンサートが行われました。美しい音色と歌声が響き渡り、来場者の方々は心穏やかな時間を過ごしました。

平成30年（2018年）6月
道の駅「みまの里」オープン

6月2日、徳島県内では16か所めの「道の駅」として道の駅「みまの里」がオープンしました。オープニングセレモニーでは、テープカットのほか、もち投げや演奏会、阿波踊りが行われ、大勢の来場者で賑わいました。

「MIMA Indigo Day」イベントを開催しました

2月16日、市制20周年記念事業の一環として、地域交流センターミライズやうだつの町並み、青木家住宅などで「MIMA Indigo Day」イベントを開催しました。

ミライズ美馬市民ホールでは、写真家の大杉隼平さん、鳴門市で手仕事での味噌造りを続けている井上雅史さん、海陽町で藍師・染師として活躍する庄司拓也さんによるトークセッションが行われ、211名の方が来場しました。大杉さんが撮影した写真とともに行われ、徳島や阿波藍、県内で活躍する職人の魅力を再発見する機会となりました。

当日は、各地で藍に関するさまざまなイベントが行われ、たくさんの来場者でにぎわいました。

①②土肥奏絵さん（四国大学４年生）が卒業制作で作成した藍染モザイクアートが、市制20周年を記念し市に贈呈 ③ミライズでは大杉隼平さんの写真展や藍マルシェ、絵本原画展、藍の料理教室等を開催 ④トークセッション中の大杉隼平さん ⑤（左から）庄司拓也さん、井上雅史さん ⑥うだつの町並みでは、複数の店舗から利用者に様々な特典が提供されたほか、クイズラリーやスタンプラリーを実施 ⑦青木家住宅では、沈殿藍を使用した藍色うちわ作りのワークショップを開催

市長所信表明

令和7年3月美馬市議会定例会は2月18日に開会し、加美市長が市政の重要課題への対応について、所信を表明しました。その一部を掲載します。

昨年1月1日には、石川県輪島市と志賀町で最大震度7を観測した能登半島地震が発生し、8月には宮崎県の日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震を受け、制度創設以来初となる「南海トラフ地震臨時情報・巨大地震注意」が発表されました。

また、9月には能登半島地震の被災地である石川県奥能登地方を豪雨災害が襲うなど、大規模自然災害の頻発化・激甚化を実感させられる一年となりました。

本年に入ってからも、1月13日の夜に日向灘で地震が発生し、「南海トラフ地震臨時情報・調査中」が発表されたほか、1月15日には南海トラフ地震の今後30年以内の発生確率が、これまでの70～80％から80％程度に引き上げられました。

こうした状況を踏まえ、本定例会には、備蓄資器材の購入費など、防災・減災対策を強化するための予算案を提出させていただいております。「自助」「共助」「公助」のそれぞれの機能を高められるよう、引き続きしっかりと取り組んでまいります。

市制20周年を迎えて

さて、本市は3月1日、市制20周年の節目を迎えます。

2月16日に開催したＭＩＭＡ Ｉｎｄｉｇｏ Ｄａｙ(ミマ インディゴデイ)を皮切りに、5月24日には記念式典を開催し、市勢の発展に功労のあった方々に対する表彰、自衛隊音楽隊による演奏会、平昌オリンピック金メダリスト・小平奈緒さんらによるトークイベントを予定しております。

また、11月の文化祭までの間、小・中学生による「大阪・関西万博」体験事業等、市制20周年を記念した各種事業を計画しております。市民の皆様や関係者の皆様とともに、この節目の年を大いに盛り上げてまいりたいと考えております。

令和7年度の市政推進方針

子育て支援の充実

認定こども園・保育所の保育料については、3歳児以上の子どもを無償としているほか、0歳児から2歳児についても第3子以降は無償、第2子は半額としております。

このたび、県において、9月から所得制限を設けたうえで2歳児以下の子どもの保育料を無償化する方針が示されました。

本市では、4月から所得制限を設けず、保育料の完全無償化を行いたいと考えております。これにより、子育てにかかる経済的負担のさらなる軽減につなげてまいります。

教育環境の整備・充実

昨年も熱中症警戒アラートが連日発表されるなど、近年、夏場の猛暑が続いております。

こうした状況を踏まえ、放課後も使用する機会が多い中学校の屋内運動場に空調設備を導入したいと考えており、その設計費を令和7年度予算案に計上しております。

屋内運動場は、大規模災害時には避難所となるため、中学校における教育環境の改善に加え、避難生活の質の向上にもつなげてまいります。

企業誘致の推進

県は昨年7月、新たな産業の柱として蓄電池関連産業を確立するための産業戦略「徳島バッテリーバレイ構想」を策定し、産業用地の適地選定の調査を進めています。

本市も県と連携し、蓄電池関連産業の誘致を推進するため、必要な調査費を令和7年度予算案に計上しております。企業誘致を通じ、新たな雇用を生み出すとともに、地域経済の好循環を創出してまいります。

大型事業の進捗

汚泥再生処理施設整備事業

吉野川環境整備組合が進める汚泥再生処理施設の整備事業は、建築躯体工事が完了し、プラント機械の設置工事が進行中で、順調に進捗しております。

また、同組合では、本年10月の新施設供用開始後に既存施設の清掃・消毒を行い、令和8年度には土地等の所有権を組合から美馬市へ移転する予定です。既存施設の解体・撤去や跡地の活用については、つるぎ町と協議を進めてまいります。

郡里廃寺跡の史跡公園整備事業

令和7年度には、公園を東西に横切る市道の改良、舗装部分を除く大部分の工事を完了できるだけの補助金を確保できる見込みです。

これを受け、工事の早期発注を行うため、令和6年度3月補正予算案に債務負担行為を計上しております。

物価高騰対策

物価高騰の影響が長引いております。本市ではデジタル地域通貨ＭＩＭＡＣＡを活用し、最大20％のプレミアムチャージポイントをはじめ、ひとり親世帯や住宅リフォームへのポイント付与を通じ、市民生活を支援します。

また、学校給食の食材費・燃料費補填といった事業を実施し、令和6年度3月補正予算と令和7年度予算を一体的に執行することで、切れ目のない対策を講じてまいります。

本市は市制20周年を迎え、次の10年、20年へと発展を続けていく重要な時期を迎えています。これからも、市民の皆様の安全・安心な暮らしを守り、活力あるまちづくりを推進してまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

加美 一成